

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-11-23

<巻頭言>創刊に寄せて

中野, 久松

(出版者 / Publisher)

法政大学小金井論集編集委員会

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

Koganei Journal of the Humanities / 法政大学小金井論集

(巻 / Volume)

1

(発行年 / Year)

2004-03

創刊に寄せて

工学部長 中野久松

わが大学の組織変更にともない、教養科目を担当する教員を小金井キャンパスに迎えたのは1999年のことであった。以来、小金井キャンパスにおける教養教育は従来以上に充実し、今日に至っている。

教養教育を行うにあたり、これを支える研究が必要であることは、専門教育の立場と何ら変わりがない。その研究の成果を資料として残しておきたい、という教員からの願望は、きわめて当然なことである。このような背景から、『小金井論集』が刊行されることになり、ここに創刊のはこびとなった。この創刊号には、未発表の7件の論文が掲載されている。

大学が知の殿堂であり続けるために、論文の発表がいかに重要であるかは、多言を要しない。「発表、さもなければ滅亡」といわれて久しい。発表という行為は、研究テーマに対する思考過程とその結果とを社会に公表し、次世代に伝承していくうえで必要不可欠であり、特に、われわれ大学人に課せられた重要な責務のひとつである。

従来、工学部では『工学部研究集報』の刊行をもって、知の殿堂の一旦を担ってきている。この研究集報が工学系の論文を集めているのに対し、『小金井論集』は教養系の論文を集めている点に特色があり、両者は互いに補完しあい、今後は刊行を通して小金井キャンパスの知の殿堂をより確実なものにしていくことになるだろう。

『小金井論集』は、『工学部研究集報』と同様、主要な大学および研究機関へ配布される。したがって、掲載論文に対する学外からの批評と議論が期待される。創刊を祝うと同時に、今後の『小金井論集』の社会的評価を待ちたい。